



『この町で生きてゆく』を支える

ハレノヒ通信

12月
2025

院長コラム

こんにちは。茶屋町在宅診療所の亀山です。

12月になると、町にイルミネーションが灯り、人の集まりや行事も増えて、どこかにぎやかな空気が流れます。その華やかさの一方で、「年末になると、家族がいない寂しさが増す」と話される方も少なくありません。

訪問診療をしていると、身寄りがいない方、家族と疎遠な方、おひとりで静かに暮らしている方など、いろいろな人生に出会います。

そして時々、「私は天涯孤独だから」と、淡々と、ひっそりと口にされる方がいます。でも、私は思うのです。

“天涯孤独”は、法律上の説明であって、心の状態を決める言葉ではないと。

戸籍の上では家族がいなくても、関わる人が途切れても、その人の人生に寄り添おうとする誰かがいれば――その瞬間、「ひとり」ではなくなります。

訪問のたびにベッドで迎えてくれる笑顔。

「今日は話せてよかった」と言ってくくださる声。

儉約家の方が、寒い日に訪問に合わせてつけてくださる暖房。

血のつながりがなくても、人は人を温めることができる。

“家族”ではなくても、“つながり”にはなれる。

そう感じる場面に、私は何度も出会ってきました。

そのとき私は、医療の役割は、病気を見ることだけじゃなく、「ひとりじゃない」という体験を届けることなんだと深く心に刻みました。

12月の冷たい風の中でも、人と人がつながる場所には、必ず温かい

灯りがともります。あなたのそばには、必ず誰かがいます。

私たちも、ここにいます。



茶屋町ハレノヒ

「このコンクリートの“箱”、なに？」

茶屋町ハレノヒの新棟では、ただいまコンクリートの基礎工事が進んでいます。

写真に写っている、ブルーシートに覆われた、大きな箱のようなコンクリート型枠。

実はこれ――2階の外来診察室へ上がるエレベーターの基礎なんです！これまで診療所の

外来は、玄関の小上がりに段差があり、車椅子の方や足の不自由な方には受診しづらい構造

でした。新棟では、エレベーターを設置して車椅子対応トイレを

完備、バリアフリー設計で移動しやすく、より多くの方に安心して

通っていただける外来になります。

工事はまだ始まったばかりですが、この“箱”が未来のハレノヒの

姿につながっていきます。次号もお楽しみに！



お知らせ

年末年始のご案内・ホームページのリニューアルについて

年末年始は2025年12月27日(土)～2026年1月4日(日)が休業となります。

契約患者様につきましては、従来どおり24時間365日体制で緊急診療に応需しています。

近々、茶屋町在宅診療所のホームページがリニューアルします。お楽しみに！

暮らしシェア帖

洗濯物が乾きやすく、部屋干しが増える季節になりました。冬でも効率よく乾かすための簡単ポイントをご紹介します。

・『アーチ形』に干す

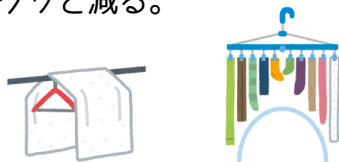
大物は外側、小物は内側。風の通り道ができて早く乾く。

・ハンガーを上手に利用

タオルはハンガーの上から被せて干す。

・厚手の服は裏『返して、途中で表に返す』

パーカーやトレーナーは内側の生地が乾きにくいので、最初に裏返して干し、途中で表に戻すと乾き残りがグッと減る。



ソーシャルワーカー便り

相談員の松岡です。

本年末をもって茶屋町在宅診療所を退職することとなりました。

当院の立ち上げからおよそ10年、当院スタッフとして勤務してきました。

沢山の患者さんやご家族さん、関係する支援者の皆様との出会いが、専門職としても、ひとりの人間としても成長させてくれました。

末筆になりましたが、皆様のご多幸、ご健勝を祈念しております。

ありがとうございました。

わがや自慢

Aさん家のココちゃん ♂

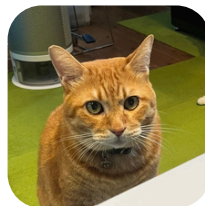
診察でお邪魔したときは、ご挨拶に来てくれます。



このコーナーで我が家の自慢を募集中。
ペット、趣味、景色など何でも自慢して下さい。
訪問の際に診療アシスタントに気軽にお声かけ下さい。

編集後記

2025年もあっという間の1年でした。
日々の暮らしの中で、ふっと心が軽くなるような「ハレノヒ通信」にしていきたいと思えます。来年もよろしくお願ひします。
年末年始、暖かくしてお過ごしください。



インスタに出演中。
チェックしてね！



@TORA9_SCHAYAMACHI

茶屋町在宅診療所

〒710-1101

倉敷市茶屋町360番地12

TEL：086-429-0003

FAX：086-429-1133